

平成16年2月期 第3四半期業績の概況(連結)

平成15年12月25日

上場会社名 久光製薬株式会社 (コード番号: 4530 東大名福)
 (URL http://www.hisamitsu.co.jp/)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中富 博隆
 責任者役職・氏名 IR室 室長 高尾 信一郎 TEL: (03) 5293-1714

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表作成基準)
 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有
 (内容)
 当四半期におけるたな卸資産のたな卸高は、実地たな卸を行わず、当中間期に係る実地たな卸高を基礎として、帳簿たな卸によって算定しています。
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
 (内容)
 P.T.サロンパス インドネシアは、3月から持分法適用関連会社より連結子会社となりました。それに伴い、社名をP.T.ヒサミツ ファルマ インドネシアに変更しています。
 丸東産業株式会社は、5月から持分法適用関連会社となりました。
 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

2. 平成16年2月期第3四半期の業績概況 (平成15年3月1日~平成15年11月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年2月期第3四半期	56,423	13,740	13,950	7,727
15年2月期第3四半期				
(参考) 15年2月期	70,000	17,055	17,239	9,397

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
16年2月期第3四半期	85 07	
15年2月期第3四半期		
(参考) 15年2月期	101 28	

- (注) 1 パーセントについては、増減率を示していますが、前年同四半期決算を行っていないため記載を省略しています。
 2 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しています。
 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載していません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

医薬品業界においては、薬価引下げを伴う医療費抑制策は、景気の低迷と併せて年々厳しさを増しています。昨年実施された診療報酬及び薬価の改定や高齢者の定率負担に加え、本年4月には被用者本人負担が引き上げられました。また来年4月には薬価の改定が予定されており、さらに医療制度改革の促進や規制緩和の推進、薬事法改正等さまざまな改革が検討されるなど、極めて厳しい経営環境となっています。

このような状況の中で医薬品及び関連製品事業、とりわけ医療用医薬品事業につきましては、重点商品である「モーラス」・「モーラステープ」などの外用鎮痛消炎剤を中心に、医療機関のニーズに的確に対応した学術情報活動を展開しました。特に、昨年10月に発売した「モーラステープL」の情報提供には力を入れてきました。一般用医薬品事業につきましては、「サロンパス」・「サロンシップ」などの外用鎮痛消炎剤の販売促進に努めるとともに、新商品の発売・拡販にも力を入れて取り組みました。2月には医療用成分塩酸ブテナフィンを配合したスイッチOTCの水虫治療薬「ブテナロック」を発売し、水虫市場でのシェアアップに努めました。また8月には、医療用成分フェルピナクを配合した第2世代の外用鎮痛消炎パッチ剤「フェイス」を発売し、強力な販売促進活動を実施しています。

また、有線テレビ放送事業及びその他の事業につきましては、高速データ通信及び、多チャンネル・地域情報メディアとしてお客様へのサービスの充実を図るとともに、活発な営業活動の継続により業績の向上に努めました。

以上のような営業活動の結果、当第3四半期までの売上高は56,423百万円、利益面については、経常利益13,950百万円、四半期純利益7,727百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況 (注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
16年2月期第3四半期	93,807	65,375	69.7	720
15年2月期第3四半期				48
(参考)15年2月期	89,379	60,232	67.4	654
				24

(注)前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載を省略しています。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下のとおりです。

前期末と比較し総資産は4,428百万円増加し、株主資本も5,143百万円増加しました。その結果、株主資本比率は69.7%と2.3ポイント向上しました。

増減の主なものは、現金及び預金の減少5,213百万円、受取手形及び売掛金の増加6,521百万円、未払法人税等の減少3,239百万円、利益剰余金の増加6,567百万円などです。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年3月1日~平成15年11月30日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
16年2月期第3四半期	52,807	13,064	13,399	7,814

	総資産	株主資本
16年2月期第3四半期	88,885	65,367

3. 平成16年2月期の連結業績予想(平成15年3月1日~平成16年2月29日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
通 期	74,000	16,500	9,500	104
				70

[業績予想に関する定性的情報等]

当社を取り巻く厳しい環境は今後も当面継続すると考えられますが、当第3四半期につきましては、ほぼ予算計画に沿った業績で推移しているため、前回公表の通期の業績予想は修正していません。

(参考2) 平成16年2月期の個別業績予想(平成15年3月1日~平成16年2月29日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金	
				期末	
通 期	70,000	16,000	9,400	14.00	14.00

* 当資料の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性を有しています。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。

1. 四半期連結損益計算書

区分	平成16年2月期第3四半期 (自平成15年3月1日 至平成15年11月30日)		前連結会計年度の要約連結損益計算書 (自平成14年3月1日 至平成15年2月28日)		
	金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	
売上高		56,423	100.0	70,000	100.0
売上原価		17,562	31.1	21,174	30.2
売上総利益		38,861	68.9	48,825	69.8
販売費及び一般管理費		25,121	44.5	31,769	45.4
営業利益		13,740	24.4	17,055	24.4
営業外収益					
1 受取利息	33			124	
2 受取配当金	67			59	
3 持分法による投資利益	17			72	
4 連結調整勘定償却額	18			-	
5 その他の営業外収益	228	364	0.6	369	625
0.9					
営業外費用					
1 支払利息	30			183	
2 為替差損	74			166	
3 その他の営業外費用	49	153	0.3	91	441
0.7					
経常利益		13,950	24.7	17,239	24.6
特別利益					
1 固定資産売却益	10			0	
2 国庫補助金	213			444	
3 貸倒引当金戻入益	96	320	0.6	-	444
0.6					
特別損失					
1 固定資産処分損	32			43	
2 固定資産圧縮損	213			444	
3 投資有価証券評価損	26			560	
4 貸倒引当金繰入額	-			41	
5 その他	-	272	0.5	0	1,090
1.5					
税金等調整前四半期 (当期)純利益		13,998	24.8	16,594	23.7
法人税、住民税及び事業税	6,164			7,739	
法人税等調整額	-	6,164	10.9	664	7,075
10.1					
少数株主利益(減算)		106	0.2	120	0.2
四半期(当期)純利益		7,727	13.7	9,397	13.4

2. 四半期連結貸借対照表

区分	平成16年2月期第3四半期末 (平成15年11月30日)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成15年2月28日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1 現金及び預金	9,127		14,340	
2 受取手形及び売掛金	24,023		17,502	
3 有価証券	2,458		2,048	
4 たな卸資産	5,125		5,195	
5 繰延税金資産	698		725	
6 その他	4,038		1,728	
貸倒引当金	168		127	
流動資産合計	45,304	48.3	41,413	46.3
固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	13,434		13,698	
(2) 機械装置及び運搬具	5,776		5,456	
(3) 工具・器具及び備品	4,122		4,129	
(4) 土地	11,372		11,366	
(5) 建設仮勘定	2,052	36,758	2,512	37,164
		(39.2)		(41.6)
2 無形固定資産	375	(0.4)	468	(0.5)
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	6,600		6,012	
(2) 繰延税金資産	2,399		2,597	
(3) その他	2,793		2,240	
貸倒引当金	424		517	
投資その他の資産合計	11,369	(12.1)	10,333	(11.6)
固定資産合計	48,502	51.7	47,966	53.7
資産合計	93,807	100.0	89,379	100.0

	平成16年2月期第3四半期末 (平成15年11月30日)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成15年2月28日)	
区分	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
1 支払手形及び買掛金	8,116		7,706	
2 短期借入金	645		689	
3 未払金	5,241		6,002	
4 未払法人税等	2,436		5,675	
5 返品調整引当金	285		198	
6 賞与引当金	100		499	
7 その他	3,705		823	
流動負債合計	20,532	(21.9)	21,595	(24.2)
固定負債				
1 長期借入金	1,580		1,612	
2 再評価に係る繰延税金負債	1,893		1,954	
3 退職給付引当金	2,695		2,583	
4 役員退職給与引当金	887		866	
5 その他	179		58	
固定負債合計	7,236	(7.7)	7,075	(7.9)
負債合計	27,768	29.6	28,670	32.1
(少数株主持分)				
少数株主持分	663	0.7	476	0.5
(資本の部)				
資本金	8,473	(9.0)	8,473	(9.5)
資本剰余金	8,241	(8.8)	8,241	(9.2)
利益剰余金	54,037	(57.5)	47,470	(53.1)
土地再評価差額金	2,790	(3.0)	2,728	(3.0)
その他有価証券評価差額金	51	(0.1)	389	(0.4)
為替換算調整勘定	981	(1.0)	756	(0.8)
自己株式	7,237	(7.7)	5,537	(6.2)
資本合計	65,375	69.7	60,232	67.4
負債、少数株主持分 及び資本合計	93,807	100.0	89,379	100.0

3. 四半期連結剰余金計算書

区分	平成16年2月期第3四半期 (自平成15年3月1日 至平成15年11月30日)		前連結会計年度の要約連結剰余金計算書 (自平成14年3月1日 至平成15年2月28日)	
	金額(百万円)		金額(百万円)	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高		8,241		8,241
資本剰余金増加高		-		-
資本剰余金減少高		-		-
資本剰余金 四半期末(期末)残高		8,241		8,241
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		47,470		38,976
利益剰余金増加高				
1 四半期(当期)純利益	7,727	7,727	9,397	9,397
利益剰余金減少高				
1 配当金	1,104		847	
2 役員賞与	56	1,160	56	903
利益剰余金 四半期末(期末)残高		54,037		47,470